

授業科目名	看護理論 Nursing Theories	大学名	獨協医科大学
科目区分	専門科目	開講時期	後期（10月3日～11月21日）
学部・学科等	看護学部・看護学科	曜日	看護教務課まで問い合わせください
必修・選択区分	必修	時限（時間）	看護教務課まで問い合わせください
標準対象年次	第1学年	授業形態	講義・演習
単位数	1単位	授業会場	看護学部棟講義室
担当教員名	板倉 朋世		
電話番号（代表者名）	0282-86-1111（内線 5101）	e-mail アドレス	kangogakubu@dokkyomed.ac.jp
オフィスアワー	水曜日 12:30～13:00、17:00～18:00 質問への対応は毎回の授業終了後に対応する。		
授業の概要	<p><b>【授業の概要】</b> 看護の見方・考え方の基盤として看護理論について学び、代表的な理論家の理論内容を看護実践へ活用する方法について学修する。</p> <p><b>【授業の目的】</b> 看護の見方・考え方の基盤となる看護理論を学び、看護実践へ活用する方法について理解する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 1.看護理論を学ぶ意義について説明する。 2.看護理論の種類(適用範囲):大理論、中理論、小理論を説明する。 3.看護理論の歴史的な変遷過程と、各時代の代表的な理論家を列挙し、理論の概要を説明する。 4.看護理論の実践への活用について、代表的な理論を用いて発表・討論する。</p> <p><b>【授業計画】</b> 第1週 ガイダンス・看護理論とは何か、看護理論と看護実践の関係・看護理論の歴史と動向・看護理論家に関するGW・発表について 事前学習：教科書 p.2-18 を精読し、理論の構成要素・種類、についてまとめる。教科書 p.284-290 を読み、看護の歴史の中で理論家の輩出時期にどのような特徴があるか考え、まとめる。 第2週 ・看護理論になじむ 代表的な看護理論家の理論と看護への活用① 1.ウィーデンバックの理論・看護理論家に関してのまとめ例の提示 事前学習：教科書 p.40-49 を精読し、ウィーデンバックが捉える「人間」「健康」「環境」「看護」についてまとめる。 第3週 看護理論家に関するGW 各グループで担当する看護理論家に関して調べる、まとめる、発表準備をする 事前学習：看護理論に関する書籍、担当する看護理論家に関する書籍を読み、GW で使用できるよう準備する。 事後学習：第4回～7回目の理論家について、担当グループで調べて発表できるようにする。発表資料をLMS コラボノートへ提出する。提出期限：10月13日（金）12時 提出先：LMS コラボノート 第4週 代表的な看護理論家の理論と看護への活用② 2.ヘンダーソンの理論 事前学習：教科書 p.30-40 を精読し、「看護師の独自の機能」「人間の基本的欲求」についてまとめる。 事後学習：発表を聞き、良かった点・質問等をワークシートに記載し、翌日までにLMS コラボノートに提出する。発表担当グループは、次回の講義前日までに回答をLMS フォーラムへ入力する。発表を聞き、良かった点・質問等をワークシートに記載し、翌日までにLMS コラボノートに提出する。発表担当グループは、次回の講義前日までに回答をLMS フォーラムへ入力する。 第5週 代表的な看護理論家の理論と看護への活用③ 3.トラベルビーの理論 事前学習：p.145-156 を精読する。事前配布資料「聞いてください、看護婦さん」を読み、医療における態度や言葉の重要性について考え、まとめる。 事後学習：発表を聞き、良かった点・質問等をワークシートに記載し、翌日までにLMS コラボノートに提出する。発表担当グループは、次回の講義前日までに回答をLMS フォーラムへ入力する。</p>		

授業の概要

第6週 代表的な看護理論家の理論と看護への活用④ 4.ロイの理論

事前学習：p.183-191 を精読し、「環境の変化に対する人間の適応」に着目し、身近な例で考え、まとめる。

事後学習：発表を聞き、良かった点・質問等をワークシートに記載し、翌日までに LMS コラボノートに提出する。発表担当グループは、次回の講義前日までに回答を LMS フォーラムへ入力する。

第7週 代表的な看護理論家の理論と看護への活用⑤ 5.ベナーの理論 最終課題レポートについて

事前課題：教科書 p.245-256 を精読し、「看護師の臨床技能の習得段階」に着目し、身近な例で考え、まとめる。

事後学習：発表を聞き、良かった点・質問等をワークシートに記載し、翌日までに LMS コラボノートに提出する。発表担当グループは、次回の講義前日までに回答を LMS フォーラムへ入力する。

第8週 代表的な中範囲理論の実践への活用 ・自己効力感 まとめ

事前学習：配布した「自己効力感」に関する資料を精読し、提示された事例に適用し考え、まとめる。

事後課題：最終課題レポート:①「授業で取上げた理論家以外で興味のある理論家の理論について」A4用紙1枚にまとめる。②「看護理論を学ぶ意義および臨床に活用する意義について」A4用紙1枚以内にまとめる。提出日:12月22日(金)13時(時間厳守) 提出先:LMS レポート提出

【成績評価と基準】

評価は、授業参加度・リフレクションの内容(20%)、グループワークでの発言・資料作成の役割分担の状況(20%)、最終課題レポート「授業で取上げた理論家以外で興味のある理論家の理論についてまとめる」(40%)「看護理論を学ぶ意義および臨床に活用する意義について」(20%)で評価する。授業時間中に、提出指示があった課題レポートの評価を加える場合もある。

【履修上の注意】

- 1.事前学習を行い、授業に臨む。
- 2.事前学習でまとめた内容を基に、各授業内でディスカッションを行い理解を深める。
- 3.グループワークでは、グループで学習計画を立案し主体的な学習を行う。
- 4.課題レポートは提出期限を厳守し LMS に提出する。
- 5.レポート類は提出時間を過ぎたものは受け取らないので注意すること。

【教科書】

看護理論 看護理論 20 の理解と実践への応用 筒井真優美編集 南江堂(最新版)(電子教科書のみ)

【参考書・参考資料】

看護実践に活かす中範囲理論 野川道子編著 メヂカルフレンド社  
その他、適宜指示する。

【備考】

- ・講義資料は事前に LMS に掲載し、学生の学修状況を確認する。
- ・演習時は、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を発表し合う。
- ・講義内で LMS 等を用いて学生の理解度を確認し、補足説明をする。
- ・LMS に挙げられた質問について、講義・LMS などで回答・解説する。
- ・成績評価の結果は、「授業評価の回答および成績評価の講評」に記載しフィードバックする。